

本資料は 5 月 7 日にスイスで発表されたプレスリリースの日本語抄訳版です。  
詳細な情報は下記より英語原文をご覧ください。

<https://bit.ly/2JjSE8W>

## アデコ 2019 年度第 1 四半期は粗利率が向上

デジタルイノベーションに向けた投資を継続しながら EBITA 利益率が増加

[2019 年 5 月 7 日 スイス・チューリッヒ]

### 2019 年第 1 四半期サマリーとハイライト

- 営業日数調整後の既存事業売上高<sup>1</sup>は前年同期比 2%減
- 欧州での成長傾向は安定、北米では減速するもその他の地域では成長が加速
- 粗利率は、事業構成比の改善とプライシングが寄与し、前年同期比 100bps 増の 19.1%
- 一時的要因<sup>2</sup>を除く EBITA<sup>3</sup> 利益率は、前年同期比 20bps 増の 4.0% ; 基調成長が「New Ventures」プログラムへの投資増加の影響を上回る
- 「GrowTogether」プログラムがコストリーダーシップを強化 ; FTE の生産性が向上
- 強固なバランスシートで有利子負債/EBITDA 倍率は 0.9x ; 現金流動性は堅調、DSO は安定
- 2019 年 3 月、4 月の売上高成長は、2018 年度第 1 四半期と同等

### アデコグループ CEO、アラン・ドゥアズは次のようにコメントしています。

「当社は 2019 年度第 1 四半期に堅調な業績を上げ、デジタル投資を増加したにも関わらず、EBITA 利益率は 20bps 向上しました。われわれは、これまでに続き今四半期も大幅に生産性を向上させた「GrowTogether」プログラムを推進し、今後も順調な進展を続けていきます。また、プライシングへの注力と、事業構成比の改善でより価値の高いソリューションに重点を置くことによって、さらなる粗利率の向上を支えることができました。

売上高は、営業日数調整後の前年同期比で 2%の減少となりましたが、欧州市場のトレンドはこの四半期で安定し、最終的には 2018 年度第 1 四半期と同等になりました。また、日本およびその他地域における成長が加速し、北米での減速を相殺することができました。

「Perform, Transform, Innovate」戦略は勢いを増し続けています。2019 年の「GrowTogether」プログラムで、生産性向上による節約をさらに 7,000 万ユーロ上積みするというわれわれの目標達成に向け、順調に歩みを進めています。NPS の向上からも明らかのように、顧客価値の提供も強化されています。

われわれはまだ変革の道半ばであり、一部を達成したに過ぎませんが、これまでの進展には満足しています。そして、2019 年およびそれ以降に実現される可能性に思いを馳せ、期待に胸を膨らませています。すべての人々のより良い仕事の未来を届けるため、アデコグループのさらなる成長に対する正解中の従業員一人ひとりの貢献に感謝します」

\*1 : 既存事業売上高とは米国会計基準以外の基準で、為替変動、M&A、事業部売却の影響を除く

\*2 : 2019 年度第 1 四半期の一時的要因を除く EBITA は 500 万ユーロ。2018 年度第 1 四半期の一時的要因を除く EBITA は 1,900 万ユーロ。

\*3 : EBITA は米国会計基準以外の基準で、償却前営業利益、のれん、および無形固定資産の減損を含む



## &lt;主な数値&gt;

## 2019年第1四半期の損益計算書情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2019年 第4四半期	2018年 <sup>4</sup> 第1四半期	変化率(%)： 報告数値	変化率(%)： 既存事業成長率
売上高	5,645	5,692	-1%	-2% <sup>4</sup>
売上総利益	1,080	1,033	5%	0%
EBITA 利益 (一時的要因を除く)	226	214	6%	8%
EBITA	221	194	14%	17%
当期純利益	133	130	2%	
希釈 EPS (ユーロ)	0.82	0.78	4%	
粗利率	19.1%	18.1%	100bps	60bps
EBITA 利益率 (一時的要因を除く)	4.0%	3.8%	20bps	40bps
EBITA 利益率	3.9%	3.4%	50bps	70bps

## 2019年第1四半期のキャッシュフローおよび純負債情報のサマリー

単位： 100万ユーロ	2019年 第1四半期	2018年 第1四半期
利払いおよび納税前のフ リー・キャッシュフロー <sup>5</sup> (FCFBIT)	191	15
フリー・キャッシュフロー (FCF)	133	(19)
純負債 <sup>6</sup>	1,096	1,143
未払い日数	53	53
現金流動性 <sup>7</sup>	99%	75%
EBITDA への純負債 <sup>8</sup>	0.9x	1.0x

\*4：2019年第1四半期の既存事業の売上高の成長率は2%減もしくは営業日数調整後で2%減

\*5：フリー・キャッシュフローは米国会計基準ではない尺度で、営業活動からのキャッシュフローから設備投資を控除したもの

\*6：純負債は米国会計基準以外の基準で、短期および長期の借入金から現金、現金同等物、および短期投資を控除したもの

\*7：現金換算は米国会計基準以外の基準で、直近四半期のFCFBITを直近四半期のEBITAで割ったものを四捨五入して計算

\*8：EBITDAへの純負債は米国会計基準以外の基準で、期末時点での純負債を、一時的要因を除いた直近四半期のEBITAで割って減価償却費を加えたもの

## 2019年第1四半期の日本の状況

2018年第3四半期の日本での売上高は4%増の3億2300万ユーロで、プロフェッショナル・スタッフィング事業と人財紹介事業が好調に成長しました。EBITAは2200万ユーロ、EBITA利益率は前年同期比60bps増の7.0%となりました。事業構成とプライシングによる効果が、ITへの戦略的投資による影響を上回りました。

## 【本件に関するお問い合わせ先】

アデコ株式会社

広報部 Tel. 050-2000-7024